



# 名言から学ぶ 恋愛観



kamitasaki

『私はこれまでの人生でずっと「私は愛されない人間なんだ」と思ってきたの。  
でも私の人生にはそれよりもっと悪いことがあったと、はじめて気がついたので。  
私自身、心から人を愛そうとしなかったのよ。』

by マリリン・モンロー

「愛」を感じる瞬間は人それぞれである。  
家族からギュッと抱きしめられたとき・・・  
友人から親しくしてもらったとき・・・  
恋人から「大好きだよ」と愛をささやかれたとき・・・  
動物から「かまってくれ！」としっぽをフリフリしてもらったとき・・・  
さまざまな形の「愛」を注いでもらいながら人は本当の「愛」を身に染み込ませて成長していく。  
だが、「愛」を感じないまま大人になってしてしまう人も中には存在している。  
そのことを知っただけで心が痛む。悲しくなる。

以降はこの名言だけを見てみて私が勝手に膨らませた妄想話だ。あまり真に受けないでほしい・・・。  
本当の「愛」ってなんだ？と気付かずに育ってきたマリリン・モンローさんがはじめて人を好きになり、胸のドキドキが止まらない  
日々に悩まされる。  
そしてこれが「愛」することなんだと生まれて初めての気持ちに気付く。  
心の底から「愛」を知ったマリリン・モンローさんがその時に

「私、心から人を愛したことがなかったんだ・・・」

と、「愛」の意味に気付き、そして懺悔をする。  
自身の悪かったことはなかなか受け入れることが難しい中、マリリン・モンローさんはしっかりと受け入れた。  
その時からマリリン・モンローさんの「愛」の物語がはじまったのだろう。

「愛」の意味を知らずに育ってきたことはダメなことではない。  
それはもしかしたら、身近な「愛」に気付いていないだけなのかもしれない。

この文章を呼んでみて今、「愛」に気付いた人、「愛」を注ぎたいと思っている人がいるのであれば是非してもらいたいことがある。

それは・・・最愛の人、身近な親しい人、愛する動物などに

「ありがとう」

と感謝の気持ちを込めて伝えてほしい。

きつと言った側も、言われた側もとてもほっこりとした気持ちになってくれるだろうと思う。

そうやって「愛」を知って「愛」を伝えていくことは人としての生きている役割の意味の一つなのかもしれない・・・そう